

# 四季題材に音楽劇

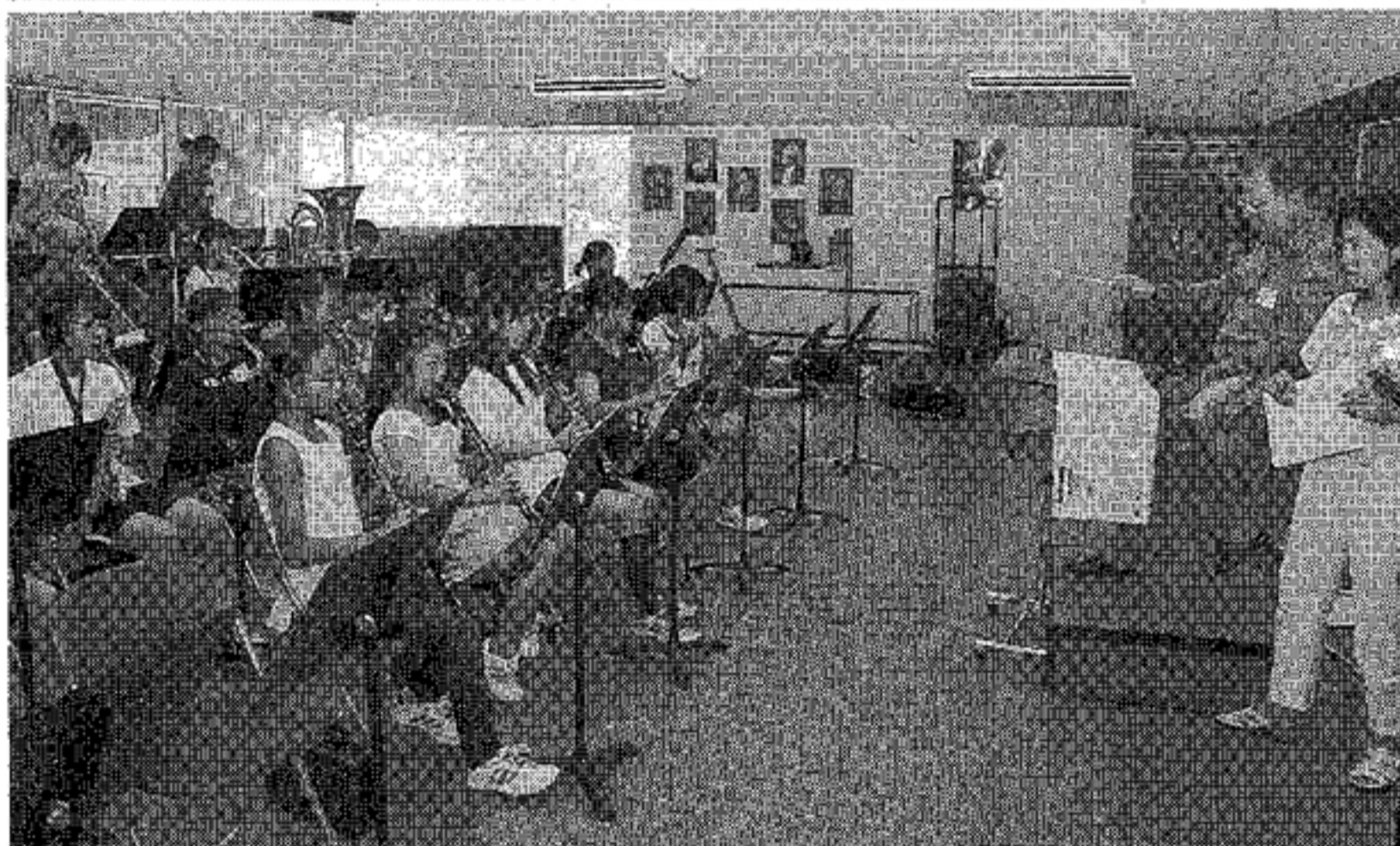
## 国際アカデミー生が出演

生の厳しさや仲間の大切さを描く音楽劇。ぐんま国際アカデミー(太田市)の児童生徒125人がオーケストラや演劇で出演する。同校では1日から合唱やダンス、衣装制作などのワークショップが開かれており、本番に向けて練習に熱が入っている。

### 9日にみどり

国際的なオペラ歌手、中嶋彰子さんが脚本・演出などを手掛けた音楽劇「The Four Seasons」が9日、みどり市笠懸野文化ホール・パルで開かれる。現実と空想をテーマに、人

### オペラ歌手 中嶋さんが脚本・演出



本番に向けてワークショップに取り組むぐんま国際アカデミーの児童生徒

高等部1年の遠藤愛実さん(16)は「本番までに乗り越える課題はあるが、力を合わせて素晴らしい劇を披露したい」。初等部5年の中村海斗君(11)は「こんなに大きな作品をみんなで作

れることが楽しい」と話していた。中嶋さんは「劇はゼロから作り上げる。参加者やスタッフ全員が挑戦することの大切さを感じ、今後の希望にしてもらいたい。鑑賞した人にも素晴らしい作品だときっと感じてもらえる」と来場を呼び掛けている。

午後4時開演。入場無料。希望者は同アカデミー(0276・33・7711)へ。

中嶋さんは北海道出身。

15歳で渡豪し、1990年に全豪オペラコンクールで優勝。歌手デビューを果たし、99年にウィーン・フォルクスオーパーの専属歌手を務めた。世界各地のホールで活動している。

海外生活が長い中嶋さんは、東日本大震災の発生を機に「日本の将来のために何ができるのか」を考えた。

地方で子どもたちと活動することで、日本に活力を生み出したいと、長年温めてきたプロジェクトを形にした。

脚本はことし3月、同アカデミーの児童らが「The Four Seasons」をテーマに書いた作文や絵画、俳句を基にして中嶋さんが制作。美しい四季が移ろいゆく森を舞台

に、そこに生きる植物や動物、人間の関わりを表現している。

ワークショップでは、中嶋さんと交流があるオーストリア・シュタイヤー音楽祭音楽監督のニルス・ムースさんも協力。子どもたちは合唱や演劇練習のほか、ステージを彩る舞台美術や衣装制作など裏方の作業にも取り組んだ。